

「たね」を通してみた食と農の持続可能性についての啓発活動

活動地域  東京都

ひろげる助成

1年目

知識の提供・普及啓発

調査チームメンバー数 **7人**

たねと食@カフェ及び講演開催数 **18回**

今年度計画の達成度 **90%**

目標達成度 **90%**



たねと食@カフェ

活動内容と成果

シンポジウムは異なる立場の専門的研究者や企業等から報告、問題提起を受け、多様な考え方もつ参加者が客観的な情報により問題点を共有し考える場となった。調査活動は客観的な情報とデータ収集、啓発活動の担い手づくりの場となった。地域で小規模、多様なテーマで開催できる「たねと食@カフェ」は、より多くの市民が種及び食と農の持続可能性に関心をもち、主体的にテーマ、内容を決めて開催するため、より広く一般市民に向けた啓発活動として、参加しやすく有意義であった。また、地域で開催する学習会の担い手が学ば場となった。

課題

より多くの市民が食と農の持続可能性に関心をもち主体的に関わり、多様な立場の市民が互いの考えを尊重しつつ自律的に考え、対話しながら育ち合い学び合うこと。

目標

一般市民へ客観的な情報を伝えるための啓発活動の担い手育成。調査チーム(ゲノム編集食品・遺伝子組み換え食品・種子生産)の発足と人材確保。ウェブへ閲覧数を増やす。



シンポジウム「ゲノム編集食品が食卓へ」

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

シンポジウム登壇者への依頼と調整に苦心した。専門的分野に関する見解を示すため、政府検討会の傍聴や情報収集に時間を割いた。

■ 工夫した点

シンポジウム広報は関連団体に協力依頼。案内を省庁記者クラブ、研究者に送付。カフェ講師を2人体制にして意見交換を充実。



今後の展望

カフェや調査活動は専門的分野に関心をもち人が自発的に活動に参加する機会となり、参加者は専門的知識や情報を得ることになる。今後、啓発活動の担い手になると考えられる。今後も客観的な情報収集と提供を心がける。

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォーム
スクウェア1342
電話：03-6869-7206
E-mail：info@nongmseed.jp
HP：https://nongmseed.jp/

